

まずは自分の体を知ることから始めよう! 女性検診のすすめ

残念ながら多くの女性が、自分の卵巣状態や女性ホルモンについて把握していないのが現状。
妊娠・出産、健やかな更年期を迎えるために、もっと気軽に女性検診を受けてみませんか?

「更年期と比べて卵巣機能が悪いので、キャリアアップよりもまず婚活を先にしよう!」まだ症状は出ていないけれど、そろそろ更年期を迎えようだな」など、ライフプランを考える際の一つの目安として、一度はご自分の卵巣機能をチェックしてみるといいですね。

近年、女性の社会進出が加速している一方で、晩婚・晩産化も進み、医療の世界でも問題になっています。実は卵巣の機能は日を追うごとに低下してしまい、一度下がった卵巣機能を改善させることは、現在の医療では不可能とされています。そのため治療が遅れることで、残念ながら不妊治療をしてもお子さんを得られないことも。ご自身の卵巣機能を把握することは、これから妊娠を考える若い世代にとっても、更年期を迎える女性にとっても、早期に適切な対策ができるという点でもとても大切です。「実年齢と比較して卵巣機能が悪いので、キャリアアップよりもまず婚活を先にしよう!」まだ症状は出ていないけれど、そろそろ更年期を迎えようだな」など、ライフプランを考える際の一つの目安として、一度はご自分の卵巣機能をチェックしてみるといいですね。

自分の卵巣状態を知ること
早期に対策できるように



医師 石塚清子先生
日本産婦人科学会認定産婦人科専門医。東邦大学医学部卒業後、東京医科歯科大学にて研修。現在はローズレディースクリニックにて多くの婦人科、不妊患者の治療にあたる。

ローズレディースクリニック
〒東京都世田谷区等々力2-3-18
03-3703-0115(予約)
① 午前10:00~12:30 / 午後14:00~18:00
(毎週水曜・金曜(初診受付)18:30まで、
〈再診受付〉19:00まで) 日祝休



40代後半からは更年期の検査を /

更年期ドッグ price: ¥27,500

女性ホルモンの低下による更年期症状を確認

「更年期はだれにも訪れ、女性ホルモンは必ず低下していくものです。そのなかでどのくらい自分の体に影響を及ぼしているのかを確認する検査です。女性ホルモンの低下はコレステロール値や血糖値、骨密度などの悪化につながりますし、更年期症状と思っていた症状が実は甲状腺ホルモンの異常により起きていることも。骨密度や甲状腺ホルモンは一般的な健康診断に含まれていないことも多いので、2年に1度程度でも検査するといいですね」



Start! 問診で体の不安や気になる症状を相談

問診票に基づき、まずは医師の問診からスタート。気になっている更年期症状などを相談できます。続いて身長、体重、血圧を測定し、尿たんぱくや尿潜血がないかを尿検査で確認。

結果はレポートで
もらえます



更年期症状の状態を血液検査で確認

女性ホルモンの数値と併せて、コレステロール値や血糖値、腎機能、肝機能など更年期症状に関わる体の状態を血液検査で測定。甲状腺ホルモンが安定しているかどうかもチェックします。

骨密度を測り、骨の状態をチェック

測定器に足をのせ、かかとの骨を超音波が通過するときの変化で骨密度を測定。骨密度が低下することにより骨粗しょう症リスクが高まるため、更年期世代は定期的に受けてほしい検査です。

SMIチェックシートで更年期症状を点数化

汗をかきやすい、寝れやすい、トイレが近いなどの更年期症状が出ているかを確認するため、「SMIチェックシート」を活用。自己評価を点数化することで、体の状態を把握します。

COMMENT

51歳、まさに更年期真っただ中。気になる項目ばかりで結果が出るまでドキドキでした。特に母が骨粗しょう症なので骨密度の結果が不安でしたが、よい数値だったのでひと安心。これからも定期的に検査していきたいです。



30歳前後で一度はチェックを /

卵巣ドッグ price: ¥11,000

卵巣年齢や、妊娠可能な体かどうかを測定

「今すぐではなくとも、妊娠の可能性を知りたい人にはぜひ受けてほしい検査です。血液検査ではAMHとFSHの値を測定するのですが、AMHは卵巣にどれくらいの卵胞が残っているのかわかる検査。そしてFSHは、「もっと女性ホルモンを出してね」と卵胞の発育を促す、脳から分泌されるホルモンです。一度出産していてもその後卵巣機能が一気に下がる場合もあるので、一度は検査してもいいかもしれません」(石塚先生)

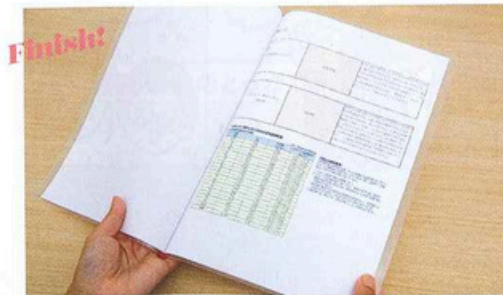


血液検査で卵巣の状態を測定

続いて採血し、AMHとFSHの値を測定します。FSHは月経周期により数値が変動するため、生理が始まってから3~5日たってから測るとより正確な数値が測定できます。

まずは問診からスタート。生理の状態などを伝えます

初めに生理の状況や婚姻、妊娠・出産歴などを問診票に記載し、その内容に沿って医師が改めて問診。心配ごとや希望などもあれば伝えて、これから受ける検査の説明を聞きます。



Finish! 結果はレポートで もらえる!

結果は2週間ほどでわかり、レポートでもらえます。自分の数値と基準値の比較がわかりやすく、各項目について医師が丁寧に解説。必要に応じて治療や対策を提案してくれます。

COMMENT

内診もあるのかと思っていたら、採血だけで済んで終了。卵巣状態が血液検査だけでわかるなんて驚きました。具体的な数値を知ることで納得できるし、安心できます。漠然と不安を抱えているより、気持ちがラクになりますね。

